



音楽を通じた情操教育と
音楽文化の発展のために

青い森音楽祭実行委員会 奈良 祥孝さん



全 県

◎事業名

青い森音楽祭2016

地元の子供たちとプロの共演、
新人発掘を柱とする音楽会

市内の小・中学生に、プロの音楽家の指導を受け、さらにステージで共演するという貴重な機会を提供してきた「青い森音楽祭」。

「この音楽祭は、音楽を情操教育に役立てたい、こうした思いからテノール歌手の三上伸和さんが立ち上げたものです。また、青森市では、公的機関が主催する新人音楽家発掘のためのオーディションというものがありませんでした。そこで、第一部が事前オーディションで選ばれた新人の発表の場であるフレッシュコンサート、第二部を子供たちの演奏とプロとの共演という形で構成することにしました。」

平成28年度の第2回は、北海道新幹線が開業した年ということもあり、函館の中学校にも声をかけ、プロの演出家の指導のもと、青函両市の中学生が一からステージを作り上げたミュージカルを上演しました。

第3回からは第1回のスタイルにもどり、29年度は市内の小中学生、30年度は中学生が、プロの音楽家との共演を果たしています。



情操教育の場でもある貴重な機会
より多くの子供たちの参加を

「出演校は、教育委員会の協力を得て、校長会でお願いをし募集しているのですが、小学校も中学校も学校行事で忙しく、なかなか集まらないのが実情です。ただ、ああいう大きいステージに立ち、プロと一緒に演奏できる機会はなかなかありません。貴重な体験ですから、多くの学校に参加してほしいと思います」。

実際、出演した子供たちは大きな変化を見せ、目の輝きが違ってくる」と奈良さん。「平成28年度のミュージカルに出演した男の子が、彼は演劇部だったのですが、歌うことの楽しさに目覚めて、次の年には合唱の演奏会に出たいという例もあります。また、出演校には事前にプロが出向いて練習するのですが、指導を受けた生徒が、「なぜプロの声は響くのか」をテーマに自由研究を行い、これが理科の部門で教育長賞を受けたということもありました。これこそ、私たちがめざす情操教育、音楽がもたらす副産物なのです。」

プロのみなさんは、地元貢献という思いか

〈事業主体名〉
青い森音楽祭実行委員会

〈事業年度〉
平成28～30年度

〈助成金使用項目〉

○フレッシュコンサートのための
新人オーディション

○青い森音楽祭2018

出演料、指導料等

〈連絡先〉

青い森音楽祭実行委員会 事務局
奈良 祥孝

〒030-0914 青森市岡道3-4-33
TEL：090-3127-7801

プロジェクトの経緯

平成28年度 平成27年度に第1回「青い森音楽祭2015」を開催。平成28年度、「青い森音楽祭2016」では、青森市内の中学校の演劇部、音楽部、吹奏楽部、美術部が役割分担し、演奏、出演、背景作成など全てを行うミュージカル「転校生」を上演

平成29年度 「青い森音楽祭2017」を開催

平成30年度 「青い森音楽祭2018」を開催

ら、特別な料金で協力してくれています。令和元年度は、フレッシュコンサートと、市内3小学校合唱部が「音を作ってみよう」と題してポディーパーカッションを取り入れた演奏とプロの共演ステージを実現しました。次代を担う子供たちの音楽教育を支援するために、貴重なプロとの交流機会をまた提供していきたいです。また、多くの市民のみなさんに、ぜひご覧いただきたいと思っています。」

(左上)平成29年度、浜田小音楽部、新城中央小吹奏楽部とプロの共演
(左下)平成28年度に上演したミュージカル「転校生」
(右下)同ミュージカル練習風景

